

# キュウリに発生したナミハダニに対する 各種殺ダニ剤の効果

福島県農業試験場病理昆虫部  
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

## 1 部門名

野菜－キュウリ－病害虫防除  
分類コード 03－01－23000000

## 2 担当者

中村 淳・佐々木正剛

## 3 要旨

夏秋期のキュウリ露地栽培圃場からナミハダニの個体群を採集し、雌成虫および卵に対する各種殺ダニ剤の効果を検討した。

- (1) 各個体群の雌成虫および卵に対して効果の高かった薬剤は、アセキノシル(カネマイトフロアブル)、酸化フェンブタスズ(オサダンフロアブル)、ビフェナゼート(マイトコーネフロアブル)およびミルベメクチン(コロマイト水和剤)の4剤であった。
- (2) 雌成虫および卵に対するクロルフェナピル(コテツフロアブル)、卵に対するエトキサゾール(バロックフロアブル)とアクリナトリン(アーデント水和剤)では一部効果が低下した個体群が認められた。
- (3) 雌成虫および卵に対するテブフェンピラド(ピラニカEW)、雌成虫に対するアクリナトリン(アーデント水和剤)、卵に対するヘキシチアゾクス(ニッソラン水和剤)では、効果の低下した個体群が多く認められた。
- (4) 今回明らかになった効果の高い薬剤を用いることで、ナミハダニを効果的かつ効率的に防除できると考えられる。

## 4 その他の資料等

なし